

株式会社 梅川鉄工所

コンマ数ミリのアルミ加工を
単品から量産体制で応える

納期 相談
企画力 自信有
コスト 相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可 小ロット
量産 対応



工程の整流化を意識した工場内

業務内容

自動車部品のアルミ加工で
世界トップクラス

50年以上、自動車等の基幹部品を製造している梅川鉄工所。特に、電動パワーステアリングのウォームハウジング生産を月30万台以上も手掛ける等、品質・量共に世界トップクラスを誇る。同社は農機具の製造部品・油圧部品加工で創業し、アルミ切削加工へと移行。ハイブリッド車を始め、省燃費車が販売台数を増やす中で、軽量化に欠かせないアルミ部品の加工に注力。人命に関わる

高精度部品を、ステアリングシユア世界No.1のJTEKTを通し、世界の自動車メーカーに提供している。



平成12年、現在の場所に移転した本社工場

強み

生産性と品質向上につなげる
治具や機器を自社開発

品質やコストを最優先に考えた製造ラインに加え、ものづくりに欠かせない検査機器や加工治具を自社開発。洗浄機とエアブローの2工程を集約した遠心分離洗浄機は、作業効率の大幅アップに貢献。治具の内製で、受注から量産まで迅速な立ち上げが可能となり、自動車のモデルチェンジの際に力を発揮した。

品質面にも強みが活かされている。アルミ製ウォームハウジングは精度要求が厳しい上に、寸法精度の基準とな

るマスターゲージが鉄製しかなかった。鉄とアルミでは温度による膨張率が異なるため、精度維持が困難なのだが、同社はアルミ製で基準マスターを製作し要求精度を確保。さらに自社開発した軸間層別測定器で、ウォームハウジングの軸間を5μm単位で測り安定した品質を実現。こうした取り組みが、取引先との信頼関係を堅固なものにしている。

現場対応力

「機械を止めない」対応と
熟練工による技術の伝承

「機械が故障した時、すぐに復旧できるようにリリーフ用の機械を備えています」と梅川社長。万一の場合、現場で迅速に対応できるように部品や治具を融通できる同社メーカーの機械で揃え、フル可動できる体制を整える。同社はオーダーメイドに対応する専門部署も立ち上げた。一品ものの自動車補修部品の注文に、熟練工と若手がベアとなって取り組むことで技術を培い、多様な注文にも対応できるようにしている。量産とオーダーメイドの2本柱で現場対応力を強化している。

今後の展望

アルミ加工技術を活かし
オーダーメイドの裾野を拡大

海外へ生産移転が進むこの業界にあって、国内生産を50年以上にわたって続けられるのは、確かな技術と信頼の証。今後は自動車部品に限らず、「自社開発の設備・治具・検査機器等の内製を活かして、鉄鋳物アルミ加工の技で貢献したい」と、量産を始め、オーダーメイドでも受注の裾野を広げたい意向だ。

COMPANY PROFILE

株式会社梅川鉄工所

大阪 24 ISO 9001

当社の歴史

農機具の町工場として父親である先代が創業。昭和45年に光洋TRW（現：ジェイテクト）と取引を始めたことで、自動車産業に参入しました。顧客要望により、油機専用の鳥取工場を立ち上げ、弟が代表を務めています。当社の強みは、安定した品質の生産体制を海外との競争に勝つため、自らの手でつくりあげてきたことにあります。これが原点であり、全従業員の宝です。

競争することで強くなり、会社も従業員も大きく成長する。

代表取締役 梅川 昌彦さん



■主な事業内容

自動車部品の加工・製造 等

■主な取引先（納入先）

自動車部品メーカー、油圧関連部品メーカー、金属加工メーカー 等

住 所／〒594-1144

和泉市テクノステージ
3-10-20

T E L／072-551-3131

F A X／072-551-3152

創 業／昭和35年1月

設 立／昭和55年1月

資本金／6,000万円

従業員／84名